

輝く赤い波



その彼岸花の群生は、まさに赤く輝く波のようであり、圧巻という表現以外の言葉を見つけることができない。

埼玉県日高市の西部の高麗本郷の高麗川が巾着状に湾曲して流れている「巾着田」の河原に、9月から10月にかけて、日本一の彼岸花の群生がみられる。

高麗本郷、高麗川そして近くにある高麗神社などからもわかる通り、その昔この地には高句麗系の人々が住んでいたとされている。

古来より、我が国は渡来系の人々から多くの文物や宗教・学問・技術等を受け入れてきたが、とりわけ、我が国も参戦した663年の白村江の戦いで唐・新羅連合軍に敗れた後には、多くの高句麗・百済の人々が我が国に逃れてきた。その後8世紀になって、この地に高句麗系の人々が集団で移り住んできたようである。

この見事に広がる彼岸花の群生は、2019年の台風19号の襲来による洪水で深刻な被害を受けたが、その後十分に整備されており、コロナ情勢にもよるであろうが、今年も見事に輝く赤い波を見ることができると思われる。遠い昔の亡国の民に思いをはせながら。

会員 菅 芳郎 (45期)